

## 第7回 基数詞

教科書の該当ページ：23 ページ、43 ページ、50～52 ページ

**基数詞** → 教科書第5課③

基数詞は物の数を数えるときに用います。一方、序数詞は物の順番を数えるときに用います(第6課④参照)。

基数詞は、「100 の位の数+100+10 の位の数+10+1 の位の数」のように、各位の数を表わす基数詞と位取りを表わす基数詞の組み合わせでできています。このとき、位取りを表わす基数詞は、各位の数が2以上の場合、分格になるので注意してください。また、100 は sata、10 は kymmenen で、yksi|sata、yksi|kymmenen にはなりません。

例) 963

yhdeksän|sataa|kuusi|kymmentä|kolme (sataa と kymmentä は分格です)

197

sata|yhdeksän|kymmentä|seitsemän (yksi|sata にはなりません)

11 から 19 までは基数詞の作り方が異なり、「1 の位の数+toista」になります。したがって、11 は、kymmenen|yksi ではなく yksi|toista になります。

例) 412

neljä|sataa|kaksi|toista

フィンランド語は、数を3桁ごとに区切ります。したがって、3桁ごとに上記の方法で数を表わし、右から4～6桁目には、そのあとに1,000を表わす tuhat をつけます。10,000 は、tuhat が10個で kymmenen|tuhatta、100,000 は、tuhat が100個で sata|tuhatta になります。tuhatta は tuhat の分格の形です。同じように、右から7～9桁目には、1,000,000を表わす miljoona をつけます。10,000,000 なら kymmenen|miljoona、100,000,000 なら sata|miljoona になります。miljoonaa は miljoona の分格の形です。

例) 963,971

[yhdeksän|sataa|kuusi|kymmentä|kolme]tuhatta[yhdeksän|sataa|seitsemän|kymmentä|yksi] (tuhatta と sataa と kymmentä は分格です)

**基数詞の用法** → 教科書第6課①

基数詞が名詞を修飾するとき、語順は「基数詞＋形容詞＋名詞」になります。このとき、基数詞が2以上であっても、名詞は複数形になりません。この名詞が主格や属格で、主語や目的語の働きをしている場合、名詞の格が分格に変わります。また、形容詞も名詞と同じ分格になります。2以上の数詞がついた名詞が主語になる場合、動詞も単数形になるので注意してください。なお、属格が目的語を表わす用法については、第9回で学びます。

例) 3匹の黒い猫が庭で寝ている。 **Kolme mustaa kissaa** **nukkuu** pihalla.  
3 + 黒い(単数分格) + 猫(単数分格) 眠る 庭  
私は3冊の古い本を買った。 **Minä ostin kolme vanhaa kirjaa.**  
私 買った 3 + 古い(単数分格) + 本(単数分格)

名詞を修飾する基数詞が1の場合、基数詞は省略されることが多く、また、省略されない場合も、後続する名詞が単数分格になることはありません。

例) 1匹の黒い猫が庭で寝ている。 **(Yksi) musta kissa** **nukkuu** pihalla.  
1 + 黒い(単数主格) + 猫(単数主格) 眠る 庭  
(yksi は主格)  
私は1冊の古い本を買った。 **Minä ostin (yhden) vanhan kirjan.**  
私 買った 1 + 古い(単数属格) + 本(単数属格)  
(yhden は属格)

基数詞が修飾する名詞が主語・目的語の働きをしていない場合、数詞は形容詞と同じように名詞と同じ格になります。語順は「基数詞＋形容詞＋名詞」で変わりません。次の文では、名詞が{所へ}格なので、それを修飾する形容詞も数詞も共に{所へ}格になっています。

例) 彼は3人のかわいい女の子にチョコレートをあげた。  
**Hän antoi kolmelle sievälle tytölle**  
**suklaata.**  
彼 あげた 3 + かわいい + 女の子 チョコ

**不定詞** → 教科書第3課②

不定詞は動詞の見出し語になる基本形です。動詞の中には、他の動詞の不定詞を取るものがあります。このとき、その動詞自体は、主語の人称・数に合わせて人称変化します。voida「できる」、osata「できる、～する能力がある」、saada「～してよい」のような英語の助動詞に相当するものも含まれますが、英語と異なり人称変化するので注意しましょう。

例) 煙草を吸ってもいいですか。 **Saanko tupakoida?**

～してよい(1人称単数) 煙草を吸う(不定詞)